



絵本の世界

第 4 回

{ おばけのめをみて
おとうとうさぎ! }



おばけに幽霊…子どもたちはコワイのが大嫌い? いえいえ、実はおばけの出てくる絵本や歌は、いつの時代にも人気なのです。最近日本でも定着してきたハロウィンなども、子どもたちはゾクゾク、ドキドキ、そしてワクワクしながら楽しんでいます。

そんなハロウィンの季節にご紹介したいのがこの絵本。スウェーデンの子どもたち(0～6歳)が選ぶ絵本の人気投票で、2007年のNo.1に輝いた作品です。

おとぎの森に暮らすうさぎの家族。怖がりのおとうとうさぎが、森の奥深く迷い込み…出た! おばけ!! —「おばけのめを、ちゃんとみたか?」と道案内のトムテ。見ないと…どうになってしまうのでしょうか?

作者のヨнна・ビョルンシェーナは1983年生まれ。そもそも、ロマンチックでちょっと不気味、かつユーモアのある絵を描く漫画家ですが、この本を含む3冊の「おとうとうさぎ」シリーズで絵本デビュー、今後の活躍を期待されています。

ページをめくるとに思わず細部まで見入ってしまう魅力的な絵、登場人物の豊かな表情…ティム・パートン監督の映画や、日本のコミック、アニメーションなどからもインスピレーションを得ているというもうなずける、とても楽しい絵本です。

PRESENT

このページで紹介した絵本をプレゼントします。詳しくはP.26をご覧ください。

発行日: 2008年8月25日
作: ヨнна・ビョルンシェーナ
訳: 菱木晃子
出版社: クレヨンハウス
<http://www.crayonhouse.co.jp/>